

アルジェリア政治・経済月例報告
(2024年2月)

2024年2月
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 5日、ハヌーン労働党党首は、透明で民主的な大統領選の条件整備等を訴え。
- 10日、ラルバウィ首相は、アルジェリア国立行政学院(ENA)の卒業式に出席。
- 11日、テブン大統領は、シェリフ平和のための社会運動(MSP)党首、フトビグ未来戦線(FM)党首とそれぞれ会談。
- 17日、テブン大統領は独立戦争戦没者記念日(注:18日)に向け、国民向けメッセージを発出。
- 25日、テブン大統領は、アフリカ最大のモスクであるグランド・モスク・アルジェ(Djamaa el Djazair)の落成式を開催。
- 26-27日、シェングリハ国軍参謀総長は、タマンラセットの第6軍管区を視察訪問し、国軍部隊における2023・2024年度の戦闘準備プログラムの実施状況を調査。また、「アハガールの嵐2024」と称する実弾による戦術演習を監督。

外交

- 1日、メラッド内相は、当地訪問中のピアンテドージ伊内相と会談し、治安協力強化のための両国協定に署名。
- 2日、アッターフ外相は、チュニジアを訪問し、サイード大統領を表敬するとともに、アンマール外相と会談。
- 2日、グジル国民評議会(上院)議長は、当地訪問中のナウム・ハマス政治局員及びハムダン当地ハマス代表と会談。
- 3日、アッターフ外相は、リビアを訪問し、メンフィ首脳評議会議長、バーウール外相代行とそれぞれ会談。
- 3-7日、シェングリハ国軍参謀総長は、サウジアラビアを訪問し、第2回国際防衛サロン「ワールド・ディフェンス・ショー」に参加。ハリド・ビン・サルマン殿下を表敬するとともに、国軍指揮幕僚学校や空軍作戦センター等を視察。
- 4日、テブン大統領は、ガインコブ・ナミビア大統領逝去を受け、弔意を表明。
- 5日、コンゴ(共)訪問中のラルバウィ首相は、リビアに関するAUハイレベル委員会首脳会合に出席しテブン大統領スピーチを代読するとともに、バティリー国連事務総長特別代表(リビア担当)、ファキ・アフリカ連合委員会(AUC)委員長とそれぞれ会談。
- 6日、植民地化と記憶に係る仏・アルジェリア合同委員会は、植民地時代と独立戦争に関する両国の相違解決のための提案を発表。
- 6日、アッターフ外相は、ガザ情勢についてプリンケン米国務長官と電話会談。
- 6日、アッターフ外相は、ダッチ・セルビア副首相兼外相と電話会談。
- 7日、テブン大統領は、アフリカピアレビューメカニズム(APRM)議長職をビオ・シエラレオネ大統領から引継ぎ。

- 7日、アッターフ外相は、当地訪問中のハメル・ガス輸出国フォーラム(GECF)事務局長と会談。
- 8日、サウジアラビアを訪問中のシェングリハ国軍参謀総長は、サウジアラビア国軍参謀総長ファイヤード・アル・ルワイリー大将と会談。
- 8日、アッターフ外相は、当地訪問中のシダティ・西サハラ「外相」と会談。
- 8日、アッターフ外相は、デル・レー・サヘルEU特別代表(EUSR)と電話会談。
- 8-9日、アッターフ外相は、モーリタニアを訪問し、ガズワニ大統領を表敬するとともに、メルズーグ外相と会談。
- 9日、マグラマン外務次官は、ロシアを訪問し、ボグダノフ大統領特別代表(中東・アフリカ担当)兼外務副大臣と共に、第1回両国政策協議を開催。
- 12日、テブン大統領は、ガズワニ・モーリタニア大統領と電話会談し、次期AU首脳会議の北アフリカ地域代表候補に指名されたことに祝意を表明。
- 12日、マグラマン外務次官は、トルコを訪問し、ユルディズ外務次官と共に、第1回両国政策協議を開催。
- 13日、ブガリ国民議会(下院)議長は、イラクでのアラブ列国議会連名の第33回理事国会議に参加し、議長国職を引き継ぎ。
- 13-14日、当地訪問中のオクタイ・トルコ上院外交委員長は、アムルーヌ上院外交・国際協力委員長、ブガリ下院議長、ジトゥニ商業・輸出促進相、アルカブ・エネルギー・鉱業相とそれぞれ会談。
- 13-14日、アッターフ外相は、エチオピアを訪問し、AU執行理事会第44回通常総会に参加するとともに、メルズーグ・モーリタニア外相、トゥガー・ナイジェリア外相、モーガン南スーダン外務・国際協力相、シンギロ・ブルンジ外相、イーサ・リビア外務次官、フランシス・シエラレオネ外相と会談。また、ブリンケン米国務相とも電話会談。
- 14日、テツビ法務・国璽相は、トルコを訪問し、トゥンチュ法相と会談。
- 15日、テブン大統領は、当地訪問中のオクタイ・トルコ上院外交委員長と会談。
- 15-18日、エチオピア訪問中のアッターフ外相は、第44回AU執行理事会、第37回AU総会に出席するとともに、南スーダン関連会合、気候変動に関するアフリカ首脳委員会会合、C10会合、A3会合に参加。そのほか、アジャディ・バカリ・ベナン外相、劉・中国アフリカ関係政府代表、ゴメス・クラヴィーニョ・ポルトガル外相、ピルデゴビッチ・ラトビア副外相、オマール・ソマリア外相、ラファラビタフィカ・マダガスカル外相、パンドール南アフリカ外相、ハシャニ・チュニジア首相、タイエ・エチオピア外相、ジャロー・シエラレオネ副大統領、アナディフ・チャド外相、ジャマ・ソマリア副首相とそれぞれ会談するとともに、アミール・アブドラヒアン・イラン外相と電話会談。
- 19-20日、シェングリハ国軍参謀総長は、ルワンダを訪問し、マリザムンダ国防相及びムガンガ国軍参謀総長と会談。
- 19-21日、ブガリ下院議長は、ヨルダンを訪問し、サファディ下院議長、アル＝ハワリ保健相、ムハフザ教育・高等教育相と会談するとともに、アブドッラー2世国王に謁見、アル＝ハサーウネ首相を表敬。
- 20日、当地訪問中のバカエ・カザフスタン外務次官は、マグラマン外務次官と共に第2回両国政策協議を開催するとともに、アッターフ外相を表敬。

- 21日、テッビ法務・国璽相は、当地訪問中のエックートEU代表と会談。
- 26日、メラッド内務・地方自治・国土整備相は、第41回アラブ内務大臣評議会(MAI)参加のためチュニスを訪問。チュニス訪問中、サイド・チュニジア大統領、リビア内相、モーリタニア内相、パレスチナ内相、イエメン内相、イラク内相とそれぞれ面会。
- 26日、レビーカ・ムジャヒディン権利継承相は、ブルンジ共和国与党・民主防衛国民議会(CNDD)の代表団と面会。
- 27日、マグラマン外務次官とアルジェリア公式訪問中のデスコテ・仏外務次官の共同議長の下、第11回アルジェリア・仏政治協議を開催。
- 28日、テブン大統領の招待により、ニュシ・モザンビーク大統領がアルジェを友好・実務訪問。

経済

- 1日、ラフルーフ公共事業・基礎インフラ相は、東西高速道路に繋がる3つのアクセス道路の開通式をスキクダ県で開催。
- 1日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、オンラインで開催された第52回OPEC・非OPEC合同閣僚級監視委員会会合(JMMC)に参加。
- 2日、中国自動車ブランド江鈴汽車(JMC)は、アルジェ支店を開設。
- 2日、アウン産業・製薬相は、韓国サムスンとアルジェリア企業SINOVAとのパートナーシップによるセティフ県テレビ生産工場を開所。
- 4日、アウン産業・製薬相は、エル・ハジャール鉄鋼コンビナートの施設の近代化のための5億ドル拠出を発表。
- 5日、漁業・水産省は、JICAとのパートナーシップによる零細漁業共同管理プロジェクトの第二弾開始を発表(当館注:プロジェクト第二弾とは、現在日本人水産専門家が従事するJICA専門家派遣事業「零細漁業共同管理促進アドバイザー業務」を指す。)
- 6日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、トリキ郵政・情報通信相、ラアガブ報道相と共に、2月29日からアルジェで開催される第7回GECF首脳会議専用ウェブサイトを立ち上げ。
- 6日、商業・輸出促進省は、ラマダン月の需要に応えるため10万トンの赤身肉輸入を発表。
- 7日、テブン大統領は、ベンスリマン氏に代わり新たにベンハムダ氏をアルジェリ航空CEOに任命。
- 8日、当地訪問中のハベック独副首相兼経済・気候相は、テブン大統領、アルカブ・エネルギー・鉱業相とそれぞれ会談。アルカブ・エネルギー・鉱業相は、オラン県アルズーで両国間のグリーン水素生産実験プロジェクトが準備中である旨発表。
- 8日、アルジェリア投資促進庁(AAPI)は、投資家向け国有経済用地取得申請用デジタルプラットフォーム開設を発表。
- 8-11日、第9回国際漁業・水産展示会(SIPA)が開催。9日、バダニ漁業・水産相は、エルナンデス・ベネズエラ人民権力漁業養殖相と会談し、両国のレッドティラピア及びエビの養殖の発展に向け使節団を派遣することに合意。10日、同展示会の傍らJICA国別研修「参加型アプローチを通じた零細漁業の共同管理」の開講式が開催。
- 9日、国営炭化水素公社ソナトラックと独VNG H&V間で中期天然ガス供給契約及び水

素に関する二国間作業部会を設立する共同意向宣言、ソネルガスと独連邦ソーラー産業協会(BSW-Solar)間で太陽エネルギー分野の技術力強化のための覚書が締結。

●11日、ソナトラックは、ノルウェー・エクイノールとの間で、温室効果ガス排出量の管理と削減における協力に関する覚書を締結。

●11日、世界銀行グループ理事会役員の代表団が当地を訪問。ファーイド財務相及びアルカブ・エネルギー・鉱業相とそれぞれ会談。

●13日、ラフルーフ公共事業・基礎インフラ相は、ティンドゥフとズエラット(モーリタニア)を結ぶ延長773キロメートルの道路建設プロジェクトに関する調査の完了を発表。

●13日、テブン大統領は、アフリカ開発のための新パートナーシップ(NEPAD)の第41回首脳運営委員会のオンライン会合にてスピーチを実施。

●13-14日、シェルファ農業・農村開発相は、米を訪問し、気候変動と食糧不安に関する国連安保理公開討論会に参加するとともに、レーガン米環境保護庁(EPA)長官と会談。

●15日、AU執行理事会にて、アルジェリアがアフリカ宇宙評議会のメンバーに選出。

●15日、スイスのITインフラ企業Datwylerは、アルジェリアIT企業All for netとパートナーシップを締結したと発表。

●16日、ザハナ運輸相は、チェコを訪問し、クプカ運輸相と会談。

●18日、一般財団法人日本エネルギー経済研究所(IEEJ)橋本裕研究主幹は、国営通信APSの取材で、ガス輸出国フォーラム(GECF)第7回会合を主催するアルジェリアのエネルギー供給国としての主導的立場を評価。

●19日、テブン大統領は、ティンドゥフ県及びモーリタニアに自由貿易地域を本年上半期末までに設置するための会議を開催。

●19日、GECFは報告書にて、2023年のEUの天然ガス需要の54%を占めるノルウェーに次ぎ、輸出量が前年比25%増のアルジェリアが第2位の19%を占めた旨発表。

●19日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、ベネズエラを訪問し、ペドロ・ラファエル石油大臣兼石油公社社長と会談するとともに、ニコラス・マドゥーロ大統領を表敬。

●19日、中国自動車メーカー・シャックマンの当地代理店Cargo Connectが輸入に係る最終認可を取得。

●20日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、2023年1月から11月までの貿易収支について、輸入額は443.2億米ドル、輸出額は547.5億(うち非炭化水素が50.7億)となった旨発表。

●20日、ラフルーフ公共事業・基礎インフラ相は、2024年度の予算について、2892.3億DAを交通インフラ整備に割り当てる旨発表。

●22日、テブン大統領は、ティンドゥフ県を訪問し、カズワニ・モーリタニア大統領出席の下、2箇所の国境検問所の開所式を行うと共に、ティンドゥフ・ズエラット(モーリタニア)間の道路建設開始を発表。

●22日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、当地を訪問したブライアン・ウェッソンCEO率いるオーストラリアの鉱山会社ライオンズブリッジの代表団と会談。

●23日、ラルバウィ首相は、ティムムーン県ハッシ・バ・ハム新ガス田の生産センターの正式な開所を発表。また、ハッシ・ソナトラック総裁は、同ガス田とその他ガス田2か所における日量1400万立方メートルのガス生産能力開発プロジェクトを発表。

- 24日、スキクダ港拡張プロジェクト担当者は、2019年に中国企業に委託され開始された同プロジェクトの進捗率は94%に達している旨発表。
- 25日、アルカブ・エネルギー・鉱業相はイラクを訪問し、ラシード・イラク大統領及びイラク石油相とそれぞれ会談。
- 27日、官報第14号に、アルジェにおけるアフリカ・エネルギー委員会(AFREC)本部の開設に関するアルジェリアとアフリカ連合の合意を批准する大統領令が掲載。
- 28日、アルジェリアは、官報第11号に掲載された大統領令に従い、アフリカ開発銀行(AfDB)への出資を36,617株増額することを発表。

治安

- 5日、アンナバ空港警察は、同空港で税関と連携し、コカイン344グラムを所持していた男1人を逮捕し、麻薬取引で得た外貨を押収した旨発表。
- 7日、国軍は、1月31日－2月6日実施の掃討作戦で、タマンラセットにおいてテロリスト1人を逮捕した旨発表。また各地で、テログループ支援者7人を逮捕。
- 8日、セティフ空港警察は、パリ行き航空便の旅客が手荷物内に隠匿していた無申告の12万ユーロを押収したうえ、同人宅を捜索し、更に32万ユーロを押収した旨発表。
- 8日、国軍は、夜間訓練飛行中の軍用戦闘ヘリコプターがエル・メニア空港付近で7日に墜落し、国軍の乗員3名が殉職した旨発表。
- 14日、国軍は、7日－13日実施の掃討作戦で、第6軍管区においてテロリスト1人を逮捕した旨発表。同期間中、同軍管区では、他に2人のテロリストが軍当局へ投降した。また各地で、テログループ支援者22人を逮捕。
- 21日、国軍は、14日－20日実施の掃討作戦でテログループ支援者2人を逮捕した旨発表。また、ティセムシルト県で、テロリストの拠点2か所、手製爆弾5個等を発見し処理した。
- 24日、アルジェ県警察は、同県ルイバ地区で、暴力や刃物を使った脅迫等により車両の強取を繰り返していた強盗犯グループを検挙した旨発表。その手口は、ヒッチハイクして人気のない場所へ誘い込み、ドライバーに集団で暴力や脅迫等を加えて車両を強取するものだった。
- 27日、ベジャイア県警察は、情報に基づき捜査して、査証偽造グループの構成員6人を逮捕した旨発表。グループの中核はベジャイアの大学生で、偽造査証、査証申請用の偽造書類、現金等が押収された。
- 28日、国軍は、21日－27日実施の掃討作戦でテログループ支援者29人を逮捕した旨発表。